

特32

146

芳村正乘
編纂

寶祚明鑑

全

006290-000-6

特32-146

寶祚明鑑

芳村 正乘/編

M23

ACJ-0412

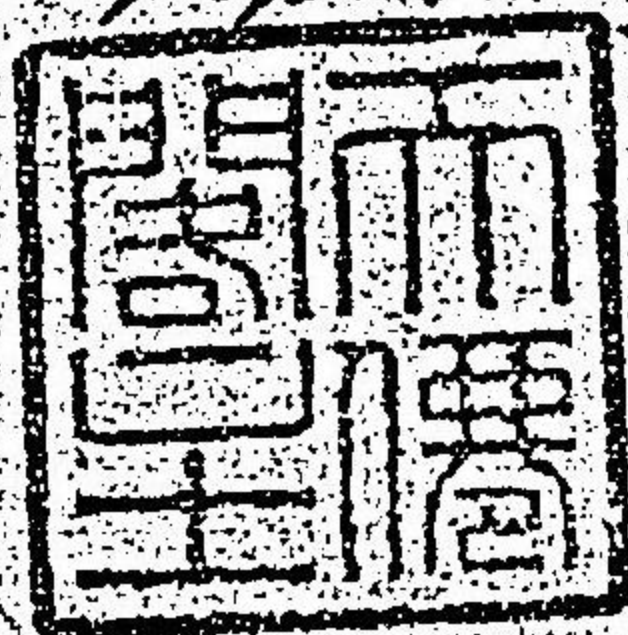


陽洲芳村正兼編纂

寶祚明鑑

全

天僊閣藏版



特32
146

8/VII 23

寶祚明鑑緒言

（續）



予全地球上各國の史乘を閲するに。天地
開闢以來萬歳の久きに一血統を以て其
國を傳ふる者有るを見ず。獨我大日本帝
國に於て之を見るのみ。其之を見る所以
の者を偶然に非ず。自然に非ず。實に淵源
する所あるなり。夫寂然不動の實體を遠



陽州文村正兼編纂

寶祚明鑑

大德閣藏版

寶祚明鑑緒言



予全地球上各國の史乘を閲するに。天地

開闢以來萬歳の久きに一血統を以て其

國を傳ふる者有るを見ず。獨我大日本帝

國に於て之を見るのみ。其之を見る所以

の者も偶然に非ず。自然に非ず。實に淵源

する所あるなり。夫寂然不動の實體を遠



く天上てんじやうの神議かむそかりに定めさだ。中天ちうてんに天御柱あめのみそしらを立たて。中國ちうごくに國御柱くにのみそしらを立たて給ふたま。是我大八洲これわかたやしまの國ぐにの大御柱たやみそしらにして。全世界ぜんせかいの中心ちゆうしんに位くらゐす。風土ふうど氣候ききう萬國ばんこくに冠絶くわんぜつたる所以ゆゑんなり。故こゝろに天神てんじん天祖てんそ寶祚ほうそを天上てんじやうに定めさだ。皇孫くわうそんを下土かどに降くだり給ふたまに臨のぞみ。天壤無窮てんじやうぶきゆうの神勅しんちよくを以もつてす。爾來らいてんとう天統てんとう一系いつけい神皇相承しんくわうあひうけ。皇極長くわうきよくとこほに

搖うごくこと無なく神器しんぎ永ながく輝かがきぬ。其蹟そのあと炳へい乎ことして日月にっげつの如ごとく。其業そのげふ巍然げんぜんとして山嶽さんかくの如ごとく。古今こまむ悉ことごとく其恩賴そのおんらいを被かうふれり。誰たれか其盛德せいとくを遺わする可べけむや。斯卷始このまきそしめに天神天祖てんじんてんその皇孫くわうそんに勅ちよくし給ひたまし肇國てうこくの詔命せうめいを掲かげ。次に歷朝れきてう神皇承繼しんくわうやうけいの尊號そんかうを列つらね。其淵源そのえんげん實蹟じつせきを表明へうめいし。皇室典範くわうしつてんそむけんそふ憲法けんぽうの起源きげんする

所を示し。以て全國四千有餘萬の兄弟に
施し。悉く腦裏に浸潤せしめ。我國體の尊
且嚴なることを識らしめ。必や凜然と
して尊王の志操を勵み。必や靄然として
愛國の忠誠を發し。益我大御柱を護衛し
奉り。遠くを天上の神議に答へ。近くを歴
朝の盛徳に報い奉ることを得べきなり。

又進みて之を海外各國に布きて。天統
一系の國體全地球上著明なるに至らむ。
獨我國人の至尊と仰ぐのみならず。宇内
萬國も亦我大御柱を推尊擁護すること
疑ひ無るべし。此の如くならむ雲雨晦冥
風潮一世を壓倒すること有るも。誰か能
く此寂然不動の實體を動搖する者有る

べけむや。近來世運一變。本を遺れ末に
馳す。滔滔皆是なり。是予が此寶祚明鑑の
編纂ある所以なり。嗚呼海の内外を問
ず。志士仁人其之を察せよ。明治二十三年
二月紀元節。

神習教管長芳村正秉謹識



内藤存守筆 龍澤篁吉刀

寶祚明鑑

神習教管長芳村正秉編纂

○古事記曰天照大御神高木神之

命以科詔日子番能途途藝命此豊

葦原水穗國者汝將知國言依賜故

隨命以可天降天兒屋根命布刀玉

命天宇受賣命伊斯許理度賣命玉

祖命并五伴緒矣支加而天降也於
是副賜其遠歧斯八尺勾璫鏡及草
那藝劍而詔者此之鏡者專爲我御
塊而如拜吾前伊都歧奉

○日本書紀曰天照大神乃賜天津
彥彥火瓊瓊杵尊八坂瓊曲玉及八

咫鏡天叢雲劍三種寶物又以中臣
上祖天兒屋命忌部上祖天太玉命
猿女上祖天鈿女命鏡作上祖石凝
姥命玉作上祖玉屋命凡五部神使
配侍焉因勅皇孫曰豐葦原千五百
秋之瑞穗國是吾子孫可主之地也
尔皇孫宜就而治焉行矣寶祚之隆

當與天壤無窮矣

○大祓詞曰皇親神漏岐神漏美乃

命以氏八百萬乃神等乎神集仁集

賜比神議仁議賜氏我皇孫之命波

豐葦原乃水穗之國乎安國止平久

所知食止事依志奉歧

○古語拾遺曰天祖天照大神高皇

產靈尊乃相語曰夫葦原瑞穗國者

吾子孫可王之地位皇孫就而治焉寶

祚之隆當與天壤無窮矣即以八咫

鏡及草薙劍二種神寶授賜皇孫永

為天璽劍鏡是也予玉自從郎勅吾

○神倭伊波礼毘古命 かむ やまと いはな びこ の みこと 代 だい 人 にん 第 だい 一 いち 世 せい 諡 みくりまを

曰神武天皇 まをす トン ちてん わうと

○神沼河耳命 かむ ぬま かの みの みのみこと 第 だい 二 に 世 せい 諡 みくりまを 曰綏靖天 みくりまをす せい ちてん

皇 わうと ○師木津日子玉手見命 しき づつ ひ と たま ぐで の みこと 第 だい 三 さん 世 せい 諡 みくりまを

○安寧天皇 あひ ねい てん わうと 第 だい 四 よ 世 せい 諡 みくりまを 曰大倭日子鉏友命 おほやまと ひ こ すき ともの みこと 第 だい 四 よ 世 せい 諡 みくりまを

○御真津日子訶惠志泥命 み まつ ひ こ か ゑ し の みこと 第 だい 五 ご 世 せい 德 とく 天皇 てん わうと

○大倭带日子国押人命 おほやまと たらひ こ く おし のひとの みこと 第 だい 六 ろく 世 せい 諡 みくりまを 曰孝昭天皇 かう せう ちてん

○大倭根日子赋斗途命 おほやまと ね こ ふ と と の みこと 第 だい 七 しち 世 せい 諡 みくりまを 曰孝安天皇 かう あん ちてん

○孝昭天皇 かう せう ちてん 第 だい 七 しち 世 せい 諡 みくりまを 曰孝靈天皇 かう れい ちてん

○孝安天皇 かう あん ちてん 第 だい 七 しち 世 せい 諡 みくりまを 曰大倭带日子国押人命 おほやまと たらひ こ く おし のひとの みこと 第 だい 六 ろく 世 せい 諡 みくりまを

○大倭带日子国押人命 おほやまと たらひ こ く おし のひとの みこと 第 だい 六 ろく 世 せい 諡 みくりまを 曰大倭根日子赋斗途命 おほやまと ね こ ふ と と の みこと 第 だい 七 しち 世 せい 諡 みくりまを

○大倭根日子赋斗途命 おほやまと ね こ ふ と と の みこと 第 だい 七 しち 世 せい 諡 みくりまを 曰孝昭天皇 かう せう ちてん

○孝昭天皇 かう せう ちてん 第 だい 七 しち 世 せい 諡 みくりまを 曰孝安天皇 かう あん ちてん

○孝安天皇 かう あん ちてん 第 だい 七 しち 世 せい 諡 みくりまを 曰孝靈天皇 かう れい ちてん

○大倭根子日子國玖琉命（第八代）

諡曰孝元天皇（第九代）

○若倭根子日子大毘毘命（第九代）

諡曰開化天皇（第十代）

○御真木八日子印惠命（第十代）

曰崇神天皇（第十代）

○伊久米伊理毘古伊佐知命（第十代）

○第一世 諡曰垂仁天皇（第十代）

○大帶日子淤斯呂和氣天皇（第十代）

○第二世 諡曰景行天皇（第十三代）

○倭建命（第十三代）

○若帶日子天皇（第十三代）

○務天皇（第十四代）

○帶中日子天皇（第十四代）

哀あい天皇

○品なむ陀だ和わ氣け命の 第だい十五ご代だい 諡おん曰い應おう神しん

天皇

○大おほ雀ささぎ命の 第だい十六じゅうろく代だい 諡おん曰い仁にん德とく天皇

○伊い邪ざ本もと和わ氣け命の 第だい十七じゅうしち代だい 諡おん曰い履り

仲ちゆう天皇

○水みづ齒は別わけ命の 第だい十八じゅうはち代だい 第だい十七じゅうしち代だい 子こ履り仲ちゆう天てん皇わう 仁にん

第だい之の 諡おん曰い及えん正しやう天皇

○男おとこ淺あさ津つ閑ま若わ子こ宿すく祢ね命の 第だい十九じゅうじゅう代だい

仁にん德とく天てん皇わう 之の 子こ 諡おん曰い允いん恭きやう天てん皇わう

○穴あな穗ほ御おん子こ 第だい二十にじゅう代だい 第だい十八じゅうはち代だい 子こ 雄ゆう略りやく天てん皇わう 允いん

之の 兄あに 諡おん曰い安あん康かう天てん皇わう

○大おほ長なつ谷せ若わか建たけ命の 第だい二十一じゅういち代だい 第だい十じゅう代だい 子こ 安あん康かう天てん皇わう 之の

皇わう 子こ 安あん康かう天てん皇わう 之の 第だい一いち 諡おん曰い雄ゆう略りやく天てん皇わう

○白髮大倭根子命 第廿二代 諡曰

清寧天皇

市邊忍齒別王 第十世

○袁祁之石巢別命 第廿三代 第十世 履仲天皇

之孫仁賢 諡曰顯宗天皇

○意富祁命 第廿四代 第十九世 履仲天皇之孫顯宗天皇

之兄 諡曰仁賢天皇

○小長谷若雀命 第廿五代 諡曰武

烈天皇

若沼毛二俣王 第十世

意富富杼王 第十世

宇非王 第十世 彦汗斯王 第十世

○袁本杼命 第廿六代 第二十世 應神天皇五世之孫 諡

曰繼體天皇

○廣國押建金日命 第一廿七代 第廿世繼體天皇

之 子 宜 化 兄 諡曰安閑天皇

○建小廣國押楯命 第一廿八代 第廿一世繼體天皇

之 子 安 閑 弟 諡曰宣化天皇

○天國押波流歧廣庭天皇 第一廿九代 第廿一世繼體天皇

子 宜 化 天 皇 之 弟 諡曰欽明天皇

○沼名倉太玉敷命 第二十三代 第廿二世欽明天皇

之 子 用 明 弟 諡曰敏達天皇

○橘豐日命 第一代 第廿二世欽明天皇

之 弟 諡曰用明天皇

○長谷部若雀天皇 第二十三代 第廿二世欽明天皇

之 子 用 明 弟 諡曰崇峻天皇

○豐御食炊屋比賣命 第二十三代 第廿二世欽明天皇

峻 天 皇 之 子 崇 弟 諡曰推古天皇

忍坂日子人太子

息長足日廣額天皇 第卅四代 第卅四世 敏達

天皇之孫 皇極 諡曰舒明天皇

茅渟王

天豐財重日足姬天皇 第卅五代

敏達天皇之曾孫 諡曰皇極天皇

孝德天皇之姊 天萬豐日天皇 第卅六代 第卅五世 敏達天皇之曾

孫皇極天 諡曰孝德天皇

天豐財重日足姬天皇 第卅七代

皇極天 諡曰齊明天皇

天命開別天皇 第卅八代 第卅五世 舒明天皇之子

天武天皇之兄 諡曰天智天皇

大友皇子 第卅九代 第廿六世 天皇之子 持統天皇

之弟 諡曰弘文天皇

○天淳中原瀛真人天皇 第四十代

舒明天皇之子 諡曰天武天皇 第二十五代

○高天原廣野姬天皇 第四十一代

智天皇之女弘 諡曰持統天皇 第二十六代

日並知皇子 第二十六世 諡曰

○天之真宗豐祖父天皇 第四十二代

世天武天皇之孫 諡曰文武天皇 第二十七代

○日本根子天津御代豐國成姬天

皇 第四十三代 第二十六世 天智 諡曰

元明天皇

○日本根子高瑞淨足姬天皇 第四十四代

代第二十七世 天武天皇之妹 諡曰元正天

皇

○天璽國押開豐櫻彦天皇 第四十五代

廿八世文武天皇之子

諡曰聖武天皇

○阿倍內親王

第四十六代

諡曰孝

謙天皇

舍人親王

第二十六世 諡曰崇道盡敬天皇

○大炊王

第四十七代 第七世 孫

諡曰

淳仁天皇

○高野天皇

第四十八代 第二十九世 孝謙天皇 重祚

諡

曰稱徳天皇

施基皇子

第二十六世 諡曰田原天皇

○白壁王

第四十九代 第二十七世 天皇之孫

諡曰

光仁天皇

○山部王

第五十八代

諡曰桓武天皇

桓武天皇勅大學頭淡海真人

三船定神武以來諡號也

○日本根子天排國高彦天皇第十一

代之第廿九世桓武天皇之兄
皇
之
子
嗟
峨
天皇
之
兄
皇
諡曰平城天

○神野天皇第五十二代第廿九世
桓武天皇之子平城天

弟皇之
諡曰嗟峨天皇

○大伴天皇第五十三代第廿九世
桓武天皇之子嗟峨天

弟皇之
諡曰淳和天皇

○正良天皇第五十四代
第三十世
諡曰仁明

天皇

○道康天皇第五十五代第卅一世
仁明天皇之子光孝天

兄皇之
諡曰文德天皇

○惟仁天皇第五十六代
第三十二世
諡曰清和

天皇

○貞明天皇第五十七代
第三十三世
諡曰陽成

天皇

○時康天皇

第五十八代 第卅一世 仁明天皇之子 文德天皇

弟皇之

諡曰光孝天皇

○定省天皇

第五十九代 第卅二世

諡曰宇多

天皇

○敦仁天皇

第六十代 第卅三世

諡曰醍醐天

皇

○寬明天皇

第六十一代 第卅四世 醍醐天皇之子 村上天

兄皇之

諡曰朱雀天皇

○成明天皇

第六十二代 第卅四世 醍醐天皇之子 朱雀天皇

弟皇之

諡曰村上天皇

○憲平天皇

第六十三代 第卅五世 村上天皇之子 圓融天皇

兄皇之

諡曰冷泉天皇

○守平天皇

第六十四代 第卅五世 村上天皇之子 冷泉天

弟皇之
諡曰圓融天皇

○師貞天皇 第六十五代 第卅六世
冷泉天皇之子 三條天皇

見皇之
諡曰花山天皇

○懷仁天皇 第六十六代 第卅六世
諡曰一條

天皇

○居貞天皇 第六十七代 第卅六世
冷泉天皇之子 花山天皇

弟皇之
諡曰三條天皇

○敦成天皇 第六十八代 第卅七世
一條天皇之子 後朱雀

之天皇
諡曰後一條天皇

○敦良天皇 第六十九代 第卅七世
一條天皇之子 後一條

之天皇
諡曰後朱雀天皇

○親仁天皇 第七十代 第卅八世
朱雀天皇之子 後三條

之天皇
諡曰後冷泉天皇

○尊仁天皇 第七十一代 第卅八世
後朱雀天皇之子 後冷

皇弟 泉天 諡曰後三條天皇

○貞仁天皇 第七十二代 諡曰白河

天皇

○善仁天皇 第七十三代 諡曰堀河

天皇

○宗仁天皇 第七十四代 諡曰鳥羽

天皇

○顯仁天皇 第七十五代 第四十二

河天皇 兄 諡曰崇徳天皇

○體仁天皇 第七十六代 第四十二

河天皇 弟 諡曰近衛天皇

○雅仁天皇 第七十七代 第四十二

天皇 之兄 諡曰後白河天皇

○守仁天皇 第七十八代 第四十三

倉天 皇 之 兄 諡曰二條天皇

○順仁天皇 第七十九代 諡曰六條

天皇

○憲仁天皇 第八十代 第四十三世 後白河天皇之子二條

○天 皇 弟 諡曰高倉天皇

○言仁天皇 第八十一代 第四十四世 高倉天皇之子後鳥

羽 皇 之 兄 諡曰安德天皇

○尊成天皇 第八十二代 第四十四世 高倉天皇之子安德

天 皇 弟 諡曰後鳥羽天皇

○為仁天皇 第八十三代 第四十五世 後鳥羽天皇之子順

之 德 兄 天 皇 諡曰土御門天皇

○守成天皇 第八十四代 第四十五世 後鳥羽天皇之子土

御 門 天 皇 弟 諡曰順德天皇

○懷成天皇 第八十五代 第四十六世 諡曰仲恭

天皇

守貞親王

第四十四世稱

○茂仁天皇

第八十六代第四十世高倉天皇之孫謚

○曰後堀河天皇

○秀仁天皇

第八十七代第四十六世謚曰四條

天皇

○邦仁天皇

第八十八代第四十六世土御門天皇之子

謚曰後嵯峨天皇

○久仁天皇

第八十九代第四十七世後嵯峨天皇之子龜

○山天皇 謚曰後深草天皇

○恒仁天皇

第九十代第四十七世後嵯峨天皇之子後深

○草天皇 謚曰龜山天皇

○世仁天皇

第九十一代第四十八世謚曰後宇

多天皇

○熙仁天皇ひろひとの 第九十八代 諡曰伏見ふし

天皇

○胤仁天皇たねひとの 第九十三代 第四十九世 伏見天皇之子 花園

○天_之皇_兄 諡曰後伏見天皇

○邦治天皇くによむ 第九十四代 第四十九世 後宇多天皇之子 後醍醐天皇之兄

○富仁天皇とよひとの 第九十五代 諡曰花園くまの

天皇

○尊治天皇たかよむ 第九十六代 第四十九世 後宇多天皇之子 後醍醐天皇之弟

○義良天皇のりよむ 第九十七代 第五十世 諡曰後醍醐天皇

○上天皇かみ 第九十八代 第五十一世 諡曰長慶天皇

○寛成天皇ひろなり 第九十八代 第五十一世 諡曰後龜

○熙成天皇のりなり 第九十八代 第五十一世 諡曰後龜

○熙成天皇のりなり 第九十八代 第五十一世 諡曰後龜

山やま天皇

量かず仁ひとの天皇

第五十世後伏見天皇
之子光明天皇之兄

諡曰くわうごむ光嚴天皇

豐とよ仁ひとの天皇

第五十世後伏見天皇
之子光嚴天皇之弟

諡曰くわうめい光明天皇

興たけ仁ひとの天皇

第五十一世光嚴天皇
之子後光嚴天皇之兄

諡曰すくわう崇光天皇

彌いや仁ひとの天皇

第五十一世光嚴天皇
之子崇光天皇之弟

諡曰ごごむ後光嚴天皇

緒を仁ひとの天皇

第五十二世
諡曰ごゑん後圓融天

皇

○ 幹もと仁ひとの天皇

第九十三代
諡曰ご後小

松まつ天皇

○ 實み仁ひとの天皇

第一百四十五代
諡曰くわう稱光天

皇

崇仁親王

第五十二世

貞成親王

第五

十三世 諡曰 崇光天皇

○ 彦仁天皇

第一百一代 崇光天皇之曾孫 諡

○ 後花園天皇

○ 成仁天皇

第一百二代

諡曰後土

御門天皇

○ 勝仁天皇

第一百三代

諡曰後柏

原天皇

○ 知仁天皇

第一百四十七代

諡曰後奈

良天皇

○ 方仁天皇

第一百八十五代

諡曰正親

町天皇

誠仁親王

第五十九世 諡曰陽光天皇

○周仁天皇

第百六代 正親町天皇之孫

諡

曰後陽成天皇

○政仁天皇

第百七代 第六十一世

諡曰後水

尾天皇

○興子天皇

第百八代 第六十二世 後水尾天皇之子 後光

之明姉天皇

諡曰明正天皇

○紹仁天皇

第百九代 第六十三世 後水尾天皇之子 明正

之天皇 弟 諡曰後光明天皇

○良仁天皇

第百十代 第六十二世 後水尾天皇之子 後光

之明弟 諡曰後西院天皇

○識仁天皇

第百十一代 第六十二世 後水尾天皇之子 後

西院天皇 弟 諡曰靈元天皇

○朝仁天皇

第百十二代 第六十三世

諡曰東山

天皇

○慶仁天皇やすひとの 第百十三代 諡曰中御あらのみ

門かど天皇

○昭仁天皇あまひとの 第百十四代 諡曰櫻町さくらまち

天皇

○遐仁天皇とやひとの 第百十五代 第百十六代 之子後櫻

町まち天皇 弟あに天皇 諡曰桃園天皇ももづの

○智子天皇とこの 第百十六代 第百十六代 之子桃園ももづの

之これ天皇 姊あね 諡曰後櫻町天皇さくらまち

○英仁天皇ひいでひとの 第百十七代 諡曰後桃もも

園ぞの天皇

直仁親王あやひとの 第百十四代 典仁親王つねひとの 第六代

十五世 諡曰光天皇あき

○兼仁天皇とよひとの 第百十八代 諡曰光格あきかく

天皇

○ 惠仁天皇

第百十九代

諡曰仁孝

天皇

○ 統仁天皇

第百二十代

諡曰孝明

天皇

○ 睦仁天皇

第百廿一代

今上皇帝

○ 神代邈矣年數不可考自神武天

皇紀元至今上皇帝明治廿三年

經年貳千五百五十傳代百二十

一累世六十九皇祖所謂寶祚

之隆與天壤無窮者猗嗟信矣

明治廿三年十一月廿六日印刷

明治廿三年十一月廿七日出版

定價拾五錢

岡山縣士族

著作者兼
發行者

芳村正兼



東京市神田區今川小路
二丁目五番地寄附

岡山縣士族

印刷者 芳村正明



東京市神田區今川小路
二丁目五番地寄附

